目黒区立体育施設事業報告等（概要）

- 1 事業報告書概要
- 2 指定管理者の自己評価

目 次

I	グループA	1
	[目黒区立駒場体育館、目黒区立駒場プール、目黒区立駒場庭球場・ゲートボール場]	
II	グループB	6
	[目黒区立目黒区民センター体育館、目黒区立目黒区民センタープール、 目黒区立目黒区民センター庭球場]	
III	グループC	10
	[目黒区立碑文谷体育館、目黒区立碑文谷野球場、目黒区立碑文谷庭球場]	
IV	グループD	14
	[目黒区立中央体育館]	
V	グループE	19
	[目黒区立八雲体育館、目黒区立宮前公園庭球場]	
VI	グループF	23
	[目黒区立砦野球場、目黒区立砦サッカー場]	

令和6年7月

文化・スポーツ部 スポーツ振興課

指定管理者による自己評価（令和5年度年次） <グループA>

1. 事業報告書概要

(1) 施設の概要

施設名	目黒区立駒場体育館、目黒区立駒場プール、目黒区立駒場庭球場・ゲートボール場
所在地	目黒区駒場二丁目19番39号
施設	体育室、屋内プール、トレーニング室、ランニングコース、庭球場（3面）、ゲートボール場（テニス兼用、1面）
事業内容	1 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること 2 体育施設の利用に関するもの 3 1, 2に掲げるもののほか、区が必要と認める事業

(2) 指定管理者の概要

団体名	株式会社オーエンス
所在地	中央区銀座四丁目12番15号 歌舞伎座タワー20階
代表者	代表取締役 大木 一雄
受任業務	1 目黒区立体育施設条例第3条に規定する業務 2 体育施設の利用の承認、不承認、制限その他利用に関する業務 3 体育施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 4 体育施設の設備等の保全及び修繕（区が指定するものに限る。）に関する業務 5 2, 3, 4に掲げるもののほか、区が必要であると認める業務
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

(3) 管理運営状況

① 一般公開

	利用者数				1日平均			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	7,767	8,903	9,727	109.3%	30.5	30.6	29.1	95.1%
屋内プール	33,384	31,364	36,624	116.8%	106.3	106.0	104.0	98.1%
トレーニング室	9,092	12,923	16,115	124.7%	28.6	36.3	45.8	126.2%
庭球場 ゲートボール場	942	1,153	989	85.8%	29.4	30.3	30.0	99.0%
合計	51,185	54,343	63,455	116.8%	55.7	55.4	59.2	106.9%

② 教室・講習会、交流機会提供事業

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	76	79	75	94.9%	10,072	10,993	12,347	112.3%
屋内プール	21	23	21	91.3%	3,065	3,077	3,892	126.5%
会議室・研修室	17	18	19	105.6%	204	393	423	107.6%
トレーニング室	1	1	2	200.0%	46	43	59	137.2%
庭球場 ゲートボール場	24	23	23	100.0%	1,974	1,760	2,038	115.8%
その他	2	1	1	100.0%	10	8	6	75.0%
合計	141	145	141	97.2%	15,371	16,274	18,765	115.3%

③ 無料公開

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	21	22	24	109.1%	253	378	396	104.8%
屋内プール	2	1	3	300.0%	114	28	165	589.3%
トレーニング室	1	1	2	200.0%	46	43	59	137.2%
庭球場 ゲートボール場	5	3	2	66.7%	140	20	153	765.0%
合計	29	27	31	114.8%	553	469	773	164.8%

※会議室開催は体育室、施設外開催は庭球場に含む。

④ 貸切事業

	貸切可能数				利用団体数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	569	643	745	115.9%	523	593	682	115.0%
屋内プール	32	29	38	131.0%	32	29	38	131.0%
庭球場 ゲートボール場	4,757	4,908	4,936	100.6%	4,634	4,702	4,633	98.5%
合計	5,358	5,580	5,719	102.5%	5,189	5,324	5,353	100.5%

⑤ 指定管理者の収支決算状況（円）

	令和4年度	令和5年度	前年比	備考
収入額 ①	197,045,660	203,898,121	103.5%	
指定管理料	152,673,424	154,976,983	101.5%	
利用料金収入	42,854,020	47,342,160	110.5%	
その他	1,518,216	1,578,978	104.0%	
支出額 ②	191,140,038	202,473,082	105.9%	
人件費	77,416,078	89,156,325	115.2%	
事業費	12,743,417	13,830,227	108.5%	
管理費	92,311,358	90,143,533	97.7%	
消費税	8,669,185	9,342,997	107.8%	
差引 (①-②) =③	5,905,622	1,402,039	24.1%	
区への還元額 (③×30%)	1,771,687	427,512	24.1%	

2. 指定管理者の自己評価

【総評】

- ・令和5年度は、4月に感染症対策としてのマスク着用が個人の任意となり、5月には感染症法上「5類」に引き下がり、利用者定員の増加や廃止、種々の制限緩和を実施し徐々にコロナパンデミックより以前の日々へと戻す1年であった。手指消毒や換気など基本対策をしながら運営を行った。
- ・プールでは、3月下旬からスマートウォッチ使用可能の試行が始まり、スマートウォッチカバーの販売と利用案内など対応にあたった。また、事故・トラブル防止のため、ゴールデンウィーク、夏休み期間中の個人指導の制限など、新しいことや、継続拡充していくことなどの運営に努めた。日常生活に戻っていく中、一般公開の初心者水泳指導や、ショートレッスンの水中ウォーキングなどは高齢者の参加者が増加し、賑わいを取り戻してきた。
- ・トレーニング室では、初めての利用者が多く来場し、利用者数も右肩上がりに増加した。感染症対策のため中止していたショートレッスン（ストレッチ）を12月に再開、区民の運動参加の場と機会の提供に努められた。
- ・教室事業の参加も少しずつ回復し、定員に達するものも出てきた。貸切利用は、ほぼ利用状況が回復し、登録団体のメンバーは普段どおりにスポーツを楽しんでいた。体育館としては、快適利用ができるように、体育室内、プール場内の温度管理、プールの水温、水質管理、庭球場の砂入り人工芝の管理（砂の補充）に注意した。
- ・しかしながら、施設・設備は、老朽化が進んでおり、各所で不具合が発生、修理、補修することが増加した。都度対応し修繕・補修を行っている。雨漏り対策も急務となっている（施設課に報告、相談中）。
- ・各種区民大会や連盟独自大会など中止なく開催され、会場の提供や運営の協力が行うことができた。地域活動もほぼ全て開催され、備品の貸し出しや参加をして、住区、地域に協力できた。
- ・11月下旬から12月下旬にかけて空調機の更新工事と照明の大部分をLED化する工事が行われ、明るさと快適さが増した。工事中は1階ロビーの半分が仮囲いとなり、受付と券売機が使用不可となったため仮設受付で行い、チケットを手販売で対応した。受付、事務所職員でよく対応し、問題なく工事期間を終えられた。
- ・各利用状況は、

一般公開事業	63,455名	（昨年 54,343名）	昨年同期比 116.8%
自主教室事業	17,802名	（昨年 15,852名）	昨年同期比 112.3%
交流会事業	963名	（昨年 659名）	昨年同期比 146.1%
貸切事業	5,353件	（昨年 5,324件）	昨年同期比 100.5%
貸切利用人数	42,821名	（昨年 40,113名）	昨年同期比 106.8%
- ・一般公開、自主教室事業の回復が少し緩やかなことが気になる点であるが、引き続き利用者増加に努めていく。
- ・全体として、前年よりも利用数が伸び、スポーツ実施場所の提供ができていると考える。
- ・収入面が回復していく一方、経費面は人件費上昇や物価上昇により増加している。したがって収支では苦戦しているところである。引き続き省エネを心掛けた効率の良いエネルギー運用や施設設備の保全を心掛けて経費の削減に努力していく。
- ・今後も一般公開や教室事業の周知など、利用者増に努力し、区民にスポーツ、健康維持増進の場を提供してスポーツ実施率の向上を図っていく。

【Ⅰ サービスの実施に関する事項について】

- ・事故やトラブルのないよう職員一同、笑顔で丁寧な対応、サービスに取り組み「安全・安心・快適」な利用環境の提供に努めた。（基本的な感染症予防対策を実施）
- ・ホームページのリニューアルによって、体育館の周知と活動内容がわかりやすく提供できるようになった。今後は、デジタルサイネージの導入をしていく。
- ・トレーニング室初利用者が継続利用できるように、初回者説明会を随時、丁寧に行っている。また、プール利用者も同様に、監視員から丁寧な場内説明、案内を行っている。
- ・一般公開、自主教室・講習会事業については、幼児から高齢者まで幅広い対象者に向けた事業を計画どおりに実施、感染症拡大防止措置解除により定員数を通常に戻し集客に力を入れ、スポーツ実施場所の提供ができた。
- ・知的障害者バスケットボールは、年間で区内参加者 44 名（全体合計 261 名）と安定している。
- ・交流会事業では、例年のオリンピック競泳選手を招いての水泳教室や、年 3 回実施の館独自のテニス大会実施、知的障害者レクリエーション「ふれあい広場」など、スポーツ実施・団体交流・身体活動の場として好評であった。
- ・地域との連携で東山中学校の職場体験を受け入れ、4 名の学生が駒場体育館の仕事を体験した。
- ・また、駒場住区の広報誌「駒場野」に例年どおり、体育館イベント事業を情報提供したほか、スイカ割り大会、ふれあい動物園に備品貸出をして協力支援した。
- ・「こまばのまつり」では、かかし応援隊にかかしを出品（区長臨席での表彰式あり）、「北部ファミリースポーツ大会」に参加など住区の支援活動も継続できている。（住民総会にも出席）
- ・地域消防団の練習資材置き場の提供や目黒区の「ヒーローバス」発着場所への駐車場スペース提供、NPO 法人目黒ユネスコ協会「書き損じハガキ回収」キャンペーンへの協力、選挙ポスター掲示板設置場所の提供なども行った。
- ・総じて、区民一人ひとりのライフステージに応じた健康づくり、生きがいづくりを支えられたと考える。無料体験プログラムの充実や地域広報活動も継続し、区のスポーツ推進計画に則り、新たな利用者層の拡大、スポーツ実施率の向上に向けて、スポーツ振興課と相談しながら取り組んでいく。

【Ⅱ 経営能力に関する事項について】

- ・業務の基準に則った人材・人員確保と配置、組織体制を構築し運営にあたっている。
- ・職員間のコミュニケーションを大切にし、情報共有（連絡ノートの活用）、風通しのよい職場づくり（定期的なミーティング）からモチベーションを向上し、職員満足（E S）から利用者満足（C S）へつながるよう努め、職員の定着化がなされている。
- ・個人情報保護・コンプライアンス遵守について、プライバシーマークを取得し、本社より年 2 回全社員教育（PMS テスト）を実施し、情報管理の徹底を行っている。
- ・熱中症や怪我、救急隊要請などの対応は、受付職員も含め救急対応を確実にできる体制としている。（プール監視員、トレーナーは定期的に救急対応研修を行っている。）
- ・利用者の声に耳を傾け、普遍的な安定性と、柔軟な対応について常に協議し、安全・快適なスポーツ空間を創出している。また、当社が管理している他施設、全国多数のネットワークやノウハウを最大限に活用し、効果的な事業展開に活かし、利用者に愛される施設を目指して、駒場体育館の運営に努めている。
- ・職員・トレーナーについては、安全性はもとより専門性にも配慮し適材適所の人員配置により、効率的な活用を行い質の高い運営になるよう努めている。必要な資格については取得の推奨、支援をしている。
- ・アルバイト職員については、地域・近隣の応募者を積極的に採用している。また、子どもから

高齢者までその特性を理解し、幅広い見地を持ち、スポーツ実施のサポートができる人材の育成に努めている。資格取得の支援・推奨をしている。

- ・経費管理に関して、収入については日報を作成・保管、本社に毎日報告し共有している。支出については、現金出納員を選任して出納帳により管理している。
- ・施設・設備、物品の維持管理はメーカーや専門業者と連携して定期点検を実施している。
- ・また、老朽化による設備改修、部品交換等を当館の施設設備担当職員と連携し早期発見・対策を心がけ、スポーツ振興課に報告・相談し、区施設課とも連絡をとり、計画的に改修している。そのほか、突発的なもので館が対応できるものは早急に対応している。今後も定期的な点検を実施し管理していく。

【Ⅲ 管理運営の効率的な活用について】

- ・収支の管理については、本社と連携をとり、総括的に運営状況を把握し、適正な経理処理を行い、成果をあげている。公契約条例に基づいた人件費を適用している。
- ・水光熱費に関してコンサルティング会社と契約し、コスト削減に努めており、一定の成果を上げている。
- ・両面印刷や裏紙使用による消耗品の削減やライフサイクルコストを考えた修繕の内製化や合い見積もりによる調達コストの削減に取り組んでいる。専門性を要さない軽修繕などは館職員で対応している。
- ・修繕については区内事業者を選定しているほか、区内在住者の積極採用をしている。
- ・収支差額の還元は、30%を現金で還元している。

指定管理者による自己評価（令和5年度年次） <グループB>

1. 事業報告書概要

(1) 施設の概要

施設名	目黒区立区民センター体育館、目黒区立区民センタープール、目黒区立区民センター庭球場
所在地	目黒区目黒二丁目4番36号
施設	体育室、屋内プール、屋外プール、幼児プール、トレーニング室、トレーニングスタジオ、庭球場（2面）
事業内容	1 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること 2 体育施設の利用に関するもの 3 1, 2に掲げるもののほか、区が必要と認める事業

(2) 指定管理者の概要

団体名	ミズノグループ
所在地	大阪府大阪市中央区北浜四丁目1番23号
代表者	代表取締役 水野 明人
受任業務	1 目黒区立体育施設条例第3条に規定する業務 2 体育施設の利用の承認、不承認、制限その他利用に関する業務 3 体育施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 4 体育施設の設備等の保全及び修繕（区が指定するものに限る。）に関する業務 5 2, 3, 4に掲げるもののほか、区が必要であると認める業務
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

(3) 管理運営状況

① 一般公開

	利用者数				1日平均			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	5,255	6,179	6,086	98.5%	18.4	17.9	17.8	99.7%
屋内プール	50,186	58,452	59,099	101.1%	161.4	167.5	176.4	106.0%
屋外プール	31,874	36,293	45,156	124.4%	514.1	504.1	636.0	126.2%
屋外幼児プール	5,196	5,236	7,724	147.5%	88.1	75.9	108.8	143.3%
トレーニング室	49,982	67,115	84,449	125.8%	156.2	188.0	236.6	125.8%
庭球場	1,156	1,305	1,187	91.0%	19.3	18.6	19.5	104.4%
合計	143,649	174,580	203,701	116.7%	130.8	138.3	164.8	119.1%

② 教室・講習会、交流機会提供事業

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	44	46	49	106.5%	4,284	5,368	4,627	86.2%
屋内プール	10	10	11	110.0%	1,923	2,553	2,636	103.3%
トレーニング室	52	64	64	100.0%	4,997	8,391	9,488	113.1%
庭球場	7	8	8	100.0%	1,336	1,475	1,526	103.5%
その他	4	4	4	100.0%	100	85	98	115.3%
合計	117	132	136	103.0%	12,640	17,872	18,375	102.8%

③ 無料公開

	事業数				参加人数（人）			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	7	5	4	80.0%	143	109	66	60.6%
屋内プール	0	1	2	200.0%	0	41	287	700.0%
トレーニング室	0	4	5	125.0%	0	526	408	77.6%
庭球場	1	1	1	100.0%	28	37	29	78.4%
その他	1	1	1	100.0%	19	17	2	11.8%
合計	9	12	13	108.3%	190	730	792	108.5%

④ 貸切事業

	貸切可能数				利用団体数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	599	755	754	99.9%	570	719	722	100.4%
屋内プール	70	101	100	99.0%	70	101	100	99.0%
トレーニング室	167	160	155	96.9%	53	80	99	123.8%
庭球場	2,393	2,501	2,492	99.6%	2,369	2,482	2,424	97.7%
合計	3,229	3,517	3,501	99.5%	3,062	3,382	3,345	98.9%

⑤ 指定管理者の収支決算書

	令和4年度	令和5年度	前年比	備考
収入額 ①	147,127,613	169,894,264	115.5%	
指定管理料	74,981,308	89,533,961	119.4%	
利用料金収入	65,490,575	72,310,280	110.4%	
その他	6,655,730	8,050,023	120.9%	
支出額 ②	169,365,008	185,800,996	109.7%	
人件費	104,459,554	105,512,366	101.0%	
事業費	39,152,153	49,493,477	126.4%	
管理費	25,226,997	27,862,196	110.4%	
消費税	526,304	2,932,957	557.3%	
差引 (①-②) =③	-22,237,395	-15,906,732	-	
区への還元額 (③×30%)	0	0		

2. 指定管理者の自己評価

【総評】

コロナ感染症対策はいったん5月8日で終了したが、引き続き「安全・安心」な施設運営が最大の利用者ニーズだと考えた。我々はそのニーズに応えるべく、「サービス向上、顧客満足度向上による利用者増、稼働率の向上」の運営方針の下、全スタッフがベクトルを合わせ、施設運営に取り組んできた。それにより、事故、クレームは極端に減った。しかし、厳しい経営環境の中、残念ながら昨年引き続き黒字達成はできなかった。

利用制限解除後、特に規模の大きいトレーニング室と屋内・屋外プールの利用者増施策を進め、利用者数は昨年よりも増加、203,701名、前年比116.7%だった。

収入は、前年比115.5%、2,277万円増加した。利用料は前年比110.4%、682万円増加した。さらに物販は前年比120.9%、139万増加した。

支出は、経費削減、生産性向上を進めたが、前年比109.7%、1,644万円増加した。人件費は、業務の効率化を図り必要なポストは確保しつつ、余剰な人員配置をしないシフトで運営し、前年比101.0%に抑えられた。事業費はより安心・安全な運用を進めなければいけないウエルネスサプライとの業務委託費が増加した。管理費は、物品販売増加に伴う物販原価、消耗品費、券売機変更のリース費が増加した。消費税は、収入にかかる消費税が前年比122.4%だったのに対し、支出にかかる消費税が前年比105.7%だったため、差し引きで、241万増となった。

以上の状況から、収支決算状況はマイナス1,689万円、前年比では赤字を535万円減らせたが、黒字転換には至らなかった。

【I サービスの実施に関する事項について】

- ① 教室・講習会・交流会事業は、今まで運営していた期間の経験を活かし利用者アンケート・利用者懇談会・教室参加者のアンケート、職員に寄せられる日々の声を中心に、事業の見直しを行った。また年度内においても応募の多い教室については、既存利用者に配慮し、臨時プログラムのワンコインレッスン等で事業追加を行い、地域住民のニーズに応えるようにした。その結果、教室・交流会収入は1,023万円（前年比102.3%）となり、利用料収入は増加した。コロナ後も安

心で安全な教室の実施を心掛け多くの地域住民のスポーツ機会の増大に寄与した。教室事業では、昨年から力を入れた高齢者・子ども向け教室の更なる充実を計り、参加者増に努めた。また教室実施においては、教室指導できる施設運営スタッフを育成し教室運営にあたることにより、教室参加者の運動継続の大きな要因となった。

- ② 利用頻度の高いトレーニング室は、近隣の民間ジムと比べても遜色のない、魅力ある設備の施設として利用者に認識していただいている。昨年以上にLINEとInstagramを活用し、この魅力ある設備をアピールした。
- ③ 昨年9月から再開した空きスタジオ開放は利用者の個人の練習の場として非常に好評であり利用人数も増加している。
- ④ 屋外プールのWEB受付システムを継続した。更なるシステム改良により、入場時間に関する苦情が0になり、よりスムーズな入場ができた。

【Ⅱ 経営能力等に関する事項について】

- ① 館長・副館長の3名体制を維持し、責任者不在時間をなくして安定的な施設運営管理を行い、適切に苦情・トラブル・要望に対応した。またその他のスタッフも責任者を補佐する役割を与えつつ、各種研修の参加とOJTによる各人の能力アップに努め組織としての総合力を高めた。
- ② ミズノグループとして、代表企業である美津濃株式会社と構成団体であるミズノスポーツサービス株式会社、プール事業は株式会社ウエルネスサプライが、それぞれの強みを生かして代表企業ミズノ株式会社の方針管理に沿った研修・教育を計画的に行い、業務水準の維持・向上、業務の効率化を推し進めた。
- ③ 5月8日より、人数制限の撤廃をしたが、引き続き、消毒の徹底等安全対策を行った。
- ④ 一般公開では「いつでも誰でも運動できる環境づくり」に努め、特に、トレーニング室・プール利用者増加施策を進め、利用者は203,701名(昨年比116.74%)となった。
今後も指定管理者の特長と専門性を生かし、地域の利用者に愛される施設運営、地域のスポーツ振興とともに、「スポーツを通じて地域の皆様に健康と活力を提供する場、また笑顔があふれる交流の場。」として、東部地区を中心とした地域での運動・スポーツ・交流の拠点となるべく施設運営を行っていく。

【Ⅲ 管理運営経費の効率的な活用について】

- ① 新規購入備品及び修繕、消耗品の購入等は利用者の要望を考慮に入れ、「安全・安心」を優先に収支のバランスを見て適時に実施し、可能な限り予算計画に沿って執行することに努め、施設環境維持及び向上を行った。
- ② コロナ理由の休館と時短営業はなくなり、トレーニング室、プールの利用者大幅増加を計画したが、計画までは増加できず、また、プール工事による休館が14日増え、利用料収入は昨年比110.4%に留まった。(計画は昨年比132%)
- ③ 令和元年度から屋外プールのタトゥー等の警備受付を警備会社から目黒区の法人団体であるシルバー人材センターに委託し、以前より約100万円以上の委託費を削減した。区内業者を活用しながら雇用確保にもつながるため、今後も継続していく予定である。
- ④ 管理運営経費を予算計画に準じて使用した。効率的な人員配置、シフト管理で人件費は予算内に抑えることができた。毎月きめ細かい経費チェックを行い管理費も予算内に抑えることができた。一方で事業費は、プール運営経費が予算より大幅増加した。

指定管理者による自己評価（令和5年度年次） <グループC>

1. 事業報告書概要

(1) 施設の概要

施設名	目黒区立碑文谷体育館
所在地	目黒区碑文谷六丁目12番43号
施設	体育室、庭球場（6面）、軟式野球場（1面）
事業内容	1 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること 2 体育施設の利用に関するもの 3 1, 2に掲げるもののほか、区が必要と認める事業

(2) 指定管理者の概要

団体名	特定非営利活動法人 スポルテ目黒
所在地	目黒区碑文谷六丁目12番43号 目黒区立碑文谷体育館内
代表者	理事長 上野 幸
受任業務	1 目黒区体育施設条例第3条に規定する業務 2 体育施設の利用承認、不承認、制限その他利用に関する業務 3 体育施設及び器具等の日常の維持管理に関する事 4 体育施設の設備等の保全及び修繕（区が指定するものに限る。）に関する業務 5 2, 3, 4に掲げるもののほか、区が必要であると認める業務
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

(3) 管理運営状況

① 一般公開

	利用者数				1日平均			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	12,504	13,695	12,922	94.4%	32.4	29.6	28.2	95.0%
野球場 (無料開放)	1,036	882	6,782	768.9%	11.0	9.0	46.1	512.6%
ウォーキングコース	1,132	1,450	1,321	91.1%	26.3	29.0	26.4	91.1%
健康スポーツ相談	25	35	16	45.7%	1.1	1.3	1.2	98.5%
合計(平均)	14,697	16,062	21,041	131.0%	26.9	25.2	31.5	125.0%

② 教室・講習会、交流機会提供事業

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	12	11	14	127.2%	3,971	5,566	5,417	97.3%
野球場	2	4	5	125.0%	596	590	865	146.6%
庭球場	13	15	15	100.0%	4,131	4,231	4,116	97.3%
会議室	22	21	22	104.7%	4,375	7,720	8,218	106.5%
談話室	25	27	27	100.0%	14,500	14,500	15,479	106.8%
合計	74	78	83	106.4%	32,607	32,607	34,095	107.8%

③ 無料公開

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
こどもの日 (館祭り)	0	1	1	100.0%	0	694	1,101	158.6%
その他の事業	2	2	2	100.0%	77	57	88	154.4%
野球場 無料公開	1	1	1	100.0%	1,036	882	6,782	768.9%
合計	3	4	4	100.0%	1,113	1,633	7,971	488.1%

④ 貸切事業

	貸切可能数				利用団体数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	449	536	522	97.4%	423	517	496	95.9%
野球場	834	841	810	96.3%	527	444	480	108.1%
庭球場	6,358	6,469	6,445	99.6%	6,291	6,396	6,294	98.4%
合計	7,641	7,846	7,777	99.1%	7,241	7,357	7,270	98.8%

⑤ 指定管理者の収支決算状況（円）

	令和4年度	令和5年度	前年比	備考
収入額合計 ①	132,326,396	132,503,663	100.1%	
指定管理料	79,810,670	79,276,407	99.3%	
利用料金	51,817,420	52,493,880	101.3%	
その他収入	698,306	733,376	105.0%	
支出額合計 ②	123,883,306	131,965,302	106.5%	
人件費	53,828,169	56,038,458	104.1%	
事業費	21,862,273	23,069,966	105.5%	
管理費	48,192,864	47,062,192	97.7%	
消費税	5,640,869	5,794,686	102.7%	
差引 (①-②) =③	2,802,221	538,361	19.2%	
区への還元額 (4年度:③×30%) (5年度:③×40%)	840,666	215,344	25.6%	

2. 指定管理者の自己評価

【総評】

- ・コロナ感染症が5類に指定されて以降、平時の管理運営に戻していく年度だった。低迷したスポーツ意欲が回復していく勢いを感じながらも、一般公開事業での高齢者の参加が減少した。また、教室事業においても幼児・子供の応募減少が見られ、ニーズの低下を感じた。
- ・4月より週1枠開催している『野球場芝地未就学児無料開放』は、幼年期の運動促進・地域課題の改善・施設の有効活用・施設利用率向上・子育て支援…など、様々な課題に対抗する事業と自負している。利用団体等からは、安全な施設の提供に感謝の言葉とともに提供機会の増加の要望も頂いた。
- ・国際情勢の影響を受けた電気料の高騰が収まらず、電力使用料金の負担が重くのしかかった。
ガソリン価格高騰、円安も伴いインフレが促進されていること、人件費の高騰（最低賃金）もあり、経営を圧迫した。
- ・経費の削減を心がけながらも、利用者の安全、サービスの低下の無い運営を行った。
- ・世情的に労働者の確保が難しくなっているが、職員にコロナ感染者が発生した際の欠勤等にも、柔軟に職員配置を変更したため運営に影響は無かった。
- ・職員の高齢化対策として新規採用を進めるとともに、職員の研修や予防接種、有給休暇取得の増進、賃上げなど労務に関連のコンプライアンス遵守シケアを充実させることにより、安定した雇用を維持した。

【I サービスの実施に関する事項について】

- ・『一般公開事業』成人向け「バレーボール（金曜日）」「バスケットボール」以外は、前年度に比べ利用率は下がった。新型コロナウイルス感染防止期間が、高齢者にとってはダメージが大きかったようだ。令和5年度も前年比60%台である。一般公開事業に関しては、参加者数の動向に注視しながら、指導者と常時打ち合わせをした。今後も増加に向けて努力をしていく。
- ・『貸切事業』体育室の利用率は95.0%であり、前年度96.5%と比較して若干減少した。平日午後の空き枠が散見できた。庭球場は97.7%で前年度98.9%と比較して若干減少した。近年急な天候の変化でキャンセル対応していることも影響していると考えられる。野球場の利用率は59.3%、前年度52.8%。火曜日の無料公開設定により変化した。
- ・『教室事業』においては、目黒区の保育制度の充実により未就学児の応募者が格段に減ってしまったものの、未就学児対象以外の教室に対する応募は昨年度より増加した。幅広い対象者に向けての事業提供、利用者のニーズの把握等情報の収集を行い事業内容などの検証の材料として活用した結果であった。区民ニーズに沿った事業展開ができた。令和6年度も応募者の少ない教室の時間の変更、対象年齢の変更などを積極的に行っていく。
- ・『障害をもった方々への事業』については、「スポ・レク教室」「障がいのある方のためのエンジョイ。スポーツ教室」「リレーションシップバランスボール」を実施した。「回数をもっと増やして欲しい」「やめないで欲しい」等の同伴者、保護者の方々のからの感想をいただいた。
- ・5月5日の「館まつり」は2,136人の参加、2月12日の「ミニバレー体験交流会」は74名参加と多くの方に楽しんでいただいた。
- ・多くの方が絶えず利用し合っている施設であるため、安心して清潔な施設を目指している。小規模修繕・細部にわたる清掃など古い施設ではあるが、安心して利用していただけるよ

う水回りの清掃を重点的に行なった。

【Ⅱ 経営能力に関する事項について】

- ・提案したとおり、収支計画に基づいて予算の有効活用、経費削減に取り組んだ。
- ・財務会計に関して、品川区法人会のインボイス制度説明会に参加し税務署員に質問することで制度を理解することができ、10月からの実施に備えた。
- ・変形労働時間制を採用し、柔軟な勤務体制を維持している。事務職員（正規雇用）には、退職金制度（中小企業退職金共済加入）に加入し本年も掛け金を増額した。年次昇給も実施していくことで安定的な雇用を実現した顧問社労士と連絡を取り合い、コンプライアンスに則った労務管理を実行した。有給休暇（パートタイム職員を含む）の一定以上の消化を義務付けるだけでなく、取得を促すことで年次有給休暇の消化率が増加した。職員が退職する際も付与した年次有給休暇をすべて消化させることができた。
- ・業務水準の維持・向上を目的として、幅広い知識と共通認識を習得すべく研修計画を立てた。集合研修の中止などに伴い、関係機関に資料・教材提供を求め独自研修などを実施した。リモート研修では、職員のワークスケジュールに合わせ受講することにより、業務に支障なく受講できる体制を整えた。
- ・職員の高齢化問題の適正化のために新規雇用や世代交代のプロジェクト会議を重ねた。中長期的な職員構成プランが進行している。
- ・危機管理研修には特に力を入れ、総合消防訓練のほかに避難所運営協議会（住区住民会議・近隣町会）との連絡を深め、地域避難所訓練開催時に救急救命法・AED操作訓練を同時開催し多くの参加者を迎えることができた。日常研修の清掃研修・施設管理研修・受付業務研修などでは、きめ細かい施設維持管理・事業運営のために意見交換やケーススタディを中心に行った。

【Ⅲ 管理運営経費の効率的な活用について】

- ・収入面では、一般公開収入が予算達成率 83.3%と減少が大きかった。コロナ禍からの回復を期待した予算計画だったが、主な事業で予算を下回る結果となった。収入予算達成率は、全収入合計で 98.92%と計画を下回った。
- ・支出面では、水光熱費（主に電気料金）の高騰が収まらず、支出の削減に努めたが予算を 100 万円強超過した。施設の修繕や備品の作成や修理を職員及び設備職員が行うことにより購入費の抑制・削減をした。また、付帯設備の修繕・建具の修復・錠などの交換、建築物の補修・下水路の定期メンテナンスなどでは、過剰な料金が発生しない方法を採用し、外注依存度の低減により支出を抑えた。予算達成率は、98.19%とすることができた。区への還元は、少額ながらできている。
- ・施設管理・保全の面では施設職員での修繕に加え、管理料では改善できない施設・付帯設備・備品の老朽化を見極め、積極的にスポーツ振興課へ設備の更新、改修などを提案している。
- ・教室参加者への通知は、ハガキからほぼ全てをメールに切り替えることで通信費を削減した。

指定管理者による自己評価（令和5年度年次） <グループD>

1. 事業報告書概要

(1) 施設の概要

施設名	目黒区立中央体育館
所在地	目黒区目黒本町五丁目2番8号
施設	競技場、トレーニング室、エアライフル場、第1格技（柔道場）、第2格技（剣道場）、弓道場、スタジオ
事業内容	1 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること 2 体育施設の利用に関するもの 3 1, 2に掲げるもののほか、区が必要と認める事業

(2) 指定管理者の概要

団体名	特定非営利活動法人目黒体育協会
所在地	目黒区目黒本町五丁目2番8号 目黒区立中央体育館内
代表者	会長 會田 陽久
受任業務	1 目黒区立体育施設条例第3条に規定する業務 2 体育施設の利用の承認、不承認、制限その他利用に関する業務 3 体育施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 4 体育施設の設備等の保全及び修繕（区が指定するものに限る。）に関する業務 5 2, 3, 4に掲げるもののほか、区が必要であると認める業務
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

(3) 管理運営状況

① 一般公開

	利用者数				1日平均			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
競技場	6,529	12,926	14,228	110.1%	29.9	36.2	39.4	108.9%
トレーニング室	9,763	21,509	30,309	140.9%	41.4	60.2	84.7	140.6%
エアライフル場	438	1,207	1,553	128.7%	5.0	3.8	4.9	130.1%
ビームライフル	316	481	513	106.7%	9.8	8.3	8.6	103.5%
ビームピストル	-	168	299	178.0%	-	2.9	5.3	184.4%
第1格技場	4,774	9,364	10,398	111.0%	21.9	24.1	26.7	110.5%
第2格技場	5,511	9,954	10,018	100.6%	11.6	11.1	10.7	96.8%
弓道場	3,731	7,371	7,670	140.9%	15.8	20.8	22.0	105.9%
合計	31,062	62,331	74,176	119.0%	135.4	167.5	207.2	123.7%

② 教室・講習会、交流機会提供事業

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
競技場	22	30	19	63.3%	4,780	8,537	8,225	96.3%
トレーニング室	-	-	-	-	-	-	-	-
エアライフル場	-	-	3	-	-	-	100	-
第1格技場	10	11	7	63.6%	1,765	2,802	2,743	97.9%
第2格技場	8	10	10	100.0%	2,279	4,657	4,413	94.8%
弓道場	-	3	3	100.0%	-	221	270	122.2%
会議室	16	15	18	120.0%	4,542	6,984	9,051	129.6%
ロビー	-	2	1	50.0%	-	94	38	40.4%
駐車場	1	2	1	50.0%	102	274	76	27.7%
トレーニングスタジオ	4	5	10	200.0%	632	1,396	2,324	166.5%
合計	61	78	72	92.3%	14,100	24,965	27,240	109.1%

※交流機会は会場及び種目ごとの事業数を計上している。

(こどもの日及び体育の日の会場・種目ごとにカウント)

③ 無料公開

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
ふれあい館まつり (新春スポーツフェスタ)	1	1	1	100.0%	173	227	280	123.3%
スポーツの日 (スポーツDAY)	1	1	1	100.0%	187	188	152	80.9%
こどもの日	-	1	1	100.0%	-	3	2	66.7%
敬老の日	1	1	1	100.0%	36	34	71	208.8%
合計	3	4	4	100.0%	396	452	505	111.7%

④ 貸切事業

	貸切可能数				利用団体数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
競技場	1,081	1,540	1,569	101.9%	958	1,337	1,367	102.2%
エアライフル場	612	932	935	100.3%	18	5	2	40.0%
第1格技場	447	737	759	103.0%	215	446	457	102.5%
第2格技場	297	426	436	102.3%	121	200	176	88.0%
弓道場	189	330	321	97.3%	31	117	148	126.5%
トレーニングスタジオ	796	1,228	1,137	92.6%	544	996	1,023	102.7%
合計	3,422	5,193	5,157	99.3%	1,887	3,101	3,173	102.3%

⑤ 指定管理者の収支決算状況（円）

	令和4年度	令和5年度	前年比	備考
収入額 ①	167,119,551	170,289,961	101.9%	
指定管理経費	119,946,000	117,951,181	98.3%	
利用料金	15,412,200	17,903,800	116.2%	一般公開
	14,266,025	14,417,025	101.1%	貸切
	13,205,000	15,347,000	116.2%	教室講習会
	194,800	208,820	107.2%	器具貸出
	3,750,400	3,951,800	105.4%	駐車場
その他	791,526	510,335	64.5%	物販、自販機電気料金、受取利息等
支出額 ②	162,691,191	155,146,871	95.4%	
人件費	46,397,962	41,785,248	90.1%	委託事業人件費は除く
事業費	50,426,814	49,538,050	98.2%	
管理費	60,672,955	57,987,538	95.6%	
消費税	5,193,460	5,836,035	112.4%	
差引 (①-②) =③	4,428,360	15,143,090	342.0%	
区への還元額 (③×30%)	1,328,508	4,542,927	342.0%	

2. 指定管理者の自己評価

【総評】

- ・約2年間の及ぶ施設大規模改修による休館後、「コロナ感染症対策」によりリニューアルオープンの延期・営業縮小と約4年間に渡る運営が続いた後、「マスクの任意化」による流れとともに令和5年度がスタートした。5月以降の定員数を解除して通常運営となったことから、徐々に利用者が増加、公式ホームページならびに館内掲示を活用し、スムーズな施設利用の案内に努め、利用者の利便性の向上に努めた。
- ・管理運営面での変動は、加盟団体（各連盟・協会）の指導員や講師等の協力を得ながら柔軟な対応に努め、利用者サービスを維持した運営となった。
- ・過去最多の夏日を記録する酷暑の中、暑さ対策（温度調整）を実施しながら、また、同時にデジタルサイネージ（電子公告）の活用をスタートし「熱中症予防」の注意喚起に努めた。
- ・交流機会（5年ぶり）の「こどもの日・自由遊び広場」、日頃の成果を発表する「ふれあい館まつり」もリニューアル後初めての実施となり、多くの親子で賑わい、スポーツを通して楽しむ場の提供となった。
- ・スタッフ一丸となり、初心に帰り、利用者サービスの向上ならびに施設利用の場の提供に努力した1年となった。

【I サービスの実施に関する事項について】

<一般公開>

- ・利用者数は、74,176人と前年比119.0%（前年62,331人）と昨年の利用人数を大きく上回った。
- ・利用者ニーズを反映し「エアライフル場」土曜→午後の時間枠を連続開催に変更、結果、利用率向上につながった。
- ・「ビームライフル」「ビームピストル」の時間枠に拡充、定員数を増やすことで会場の有効活用と利用者増につながった。
- ・コロナ対策に伴い未実施であった「トレーニング室」ショートレッスンプログラムを再開し、トレーニング室利用促進につなげた。
- ・「シニアリズム健康体操」は毎回定員数を越える参加者があるためクラスを増設し、利用者ニーズに応えた。

<教室・講習会>

- ・スタジオ教室を午前に1枠増設し、トレーニングスタジオの有効活用ならびに「トレーニング室」周知につながった。
- ・申込みが200%を超える「太極拳」を午前枠に1枠増設し、利用者ニーズに応えた。

<交流機会>

- ・親子無料体験会や親子でスポーツを楽しめる「自由遊び広場」を開催し、好評を得た。回を重ねる毎に、気軽にスポーツを楽しめる場として広く周知され、多くの親子連れで賑わうイベントとして定着してきた。
- ・新たに実施した「中学生卓球交流会」は他校との交流の場となり好評を得た。また、Bリーグ選手指導による「バスケットクリニック」も継続を望む声が多くあり、子どもの体力向上・スポーツ体験の場を提供できた。
- ・障害者と健常者が一緒にスポーツを楽しむ「スポーツ de 障がい者交流会」は今回で7回目を迎えた。スペシャルオリンピックス日本・東京（SON）、目黒区バスケット連盟、一般参加

の障害者、スペシャルオリンピックスアスリート、目黒体育協会から指導者、スポーツ推進委員OB、学生ボランティア（八雲学園）と多方面からの支援により実施、新たに多くの方の参加に結び付いた。

<その他>

- ・「交流機会」開催時、友好都市気仙沼の体育施設に復興支援を目的に、地元還元を視野に入れた気仙沼物産展を実施し、収益金のほか、目黒体育協会の加盟団体からの寄付等含め気仙沼体育協会へ寄付を継続した。今回、1月に「能登半島地震」が発生した関係で「ふれあい館まつり」で開催した気仙沼物産展の収益は、同じく友好都市である金沢市の金沢スポーツ協会に寄付することとした。スポーツの輪を通して支援を継続していく。
- ・利用者還元ならびにトレーニング室利用向上に向け、「体組成測定」を計測後、結果を基に「トレーニングメニュー作成」や「健康相談」などの付加価値を付け、区民の健康促進に寄与した。
- ・交流機会（敬老の日・体育の日）においては新規教室開拓の無料体験会を実施した。利用者ニーズに合致し好評を得て、新規教室立ち上げに至った。

【Ⅱ 経営能力に関する事項について】

<目黒体育協会>

- ・理事会において指定管理業務の事業報告を行うほか、事業に関する協力を依頼した。また、一般公開指導員との事前協議を行い、連携・協力がより強化されている。

<職員研修>

- ・安心・安全な施設運営を提供するため、職員研修等を毎月実施、安心・安全な施設提供、利用者サービスの向上ならびに業務の効率化と経費削減に向けた取り組みに結び付けている。

【Ⅲ 管理運営経費の効率的な活用について】

- ・本来かかるべき水道光熱費など、通常稼働後の数値については収集中のため、まだ不確定なところもあるが、維持管理費・物件購入費などの費用を調整、全体を見直しながら、適切な額の支出に留める体制を強化した。設備機器に関しては、より細やかな日常点検により、劣化度合を見極めながらの運営に努めた。

指定管理者による自己評価（令和5年度年次） <グループE>

1. 事業報告書概要

(1) 施設の概要

施設名	目黒区立八雲体育館及び目黒区立宮前公園庭球場		
所在地	目黒区立八雲体育館	目黒区八雲一丁目1番1号	
	目黒区立宮前公園庭球場	目黒区八雲三丁目19番12号	
施設	目黒区立八雲体育館	体育室、トレーニング室	
	目黒区立宮前公園庭球場	テニスコート（2面）	
事業内容	1 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること 2 体育施設の利用に関すること 3 1, 2に掲げるもののほか、区が必要と認める事業		

(2) 指定管理者の概要

団体名	シンコースポーツ株式会社
所在地	中央区日本橋堀留町二丁目1番1号
代表者	代表取締役 石崎 健太
受任業務	1 目黒区立体育施設条例第3条に規定する業務 2 体育施設の利用の承認・不承認、制限その他利用に関する業務 3 体育施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 4 体育施設の設備等の保全及び修繕（区が指定するものに限る。）に関する業務 5 2, 3, 4に掲げるもののほか、区が必要であると認める業務
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

(3) 管理運営状況

① 一般公開

	利用者数				1日平均			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	0	13,859	27,792	200.5%	0	27.9	31.8	114.0%
トレーニング室	481	15,703	27,894	177.6%	37.0	54.9	78.1	142.3%
合計	481	29,562	55,686	188.4%	37.0	37.8	45.3	119.8%

② 教室・講習会、交流機会提供事業

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	0	30	33	110%	0	2,230	6,546	293%
会議室・研修室	0	3	2	66%	0	184	147	79%
トレーニング室	0	0	0	0%	0	0	0	-%
庭球場 ゲートボール場	7	9	9	100%	1,152	1,396	1,293	92%
その他	7	5	1	20%	191	168	15	8%
合計	14	47	45	95%	1,343	3,978	8,001	201%

③ 無料公開

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	0	13	17	180%	0	443	2,544	685%
トレーニング室	0	1	1	100%	0	68	108	158%
庭球場 ゲートボール場	3	1	1	23%	0	62	64	20%
合計	3	15	19	91%	0	573	2,716	362%

④ 貸切事業

	貸切可能数				利用団体数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
体育室	0	336	567	168%	0	326	538	165%
庭球場 ゲートボール場	2,351	2,438	2,440	100%	2,324	2,377	2,368	99%
合計	2,351	2,774	3,007	108%	2,324	2,703	2,906	107%

⑤ 健康体力相談（グループEのみ）

	事業数				利用者数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
健康体力相談	1	4	4	100%	4	93	159	170%
栄養講座	0	1	1	100%	0	39	74	189%
合計	1	5	5	100%	4	132	233	176%

⑥ 指定管理者の収支決算状況（円）

	令和4年度	令和5年度	前年比	備考
収入額 ①	55,585,166	64,470,101	115%	
指定管理料	37,532,431	37,779,031	100%	
利用料金収入	17,579,325	25,767,360	146%	
その他	473,410	923,710	195%	
支出額 ②	55,322,375	70,003,107	126%	
人件費	30,202,925	33,966,749	112%	
事業費	9,673,990	17,131,509	177%	
管理費	12,323,022	15,693,115	127%	
消費税	3,122,438	3,211,734	102%	
差引（①-②）=③	262,791	-5,533,006	-1,993%	
区への還元額 （③×50%）	131,395	0	-%	

2. 指定管理者の自己評価

【総評】

新型コロナウイルス感染症の位置づけは、令和5年5月8日から「5類感染症」になった。それにより人数制限といった利用制限が撤廃され、本来の運営に復帰した1年となった。ただし油断のならない状況は続いており、安心・安全に利用できる環境提供を第一に、消毒作業の徹底など努めた。また管理運営するスタッフの継続雇用及び一般公開等の団体・協会との継続契約を達成できたことは、利用者へ安心感を与え、サービス水準の維持につなげることができたと考える。そして利用者数の回復を目的に、体育館をPRするのぼり旗の設置や近隣住宅街へポスティング活動、商店街の掲示板を活用した告知活動を積極的に実施した。また当社のスケールメリットを生かしたバックアップ体制により、八雲体育館と宮前公園庭球場の管理運営業務を安定させることができたと認識している。事業全般については、地域で活動する団体等と連携を図りながら、各種教室・地域協働によるイベント等を開催した。また公平性・公益性を確保し、区民のライフステージに合わせたプログラムを提供し、運動・スポーツの機会提供、健康づくり活動を親しめる機会提供に努めた。

【I サービスの実施に関する事項について】

区民のスポーツ・レクリエーションの振興を図り、心身の健全な発達に寄与する目的で設置された施設であることを十分理解し、安定的な管理運営に取り組んだ。

○一般公開事業 体育室

八雲体育館は他館と比べて一般公開が充実している。とくに月曜日の午前中は太極拳からはじまり、パンチングエクササイズ、リラクソヨガを続けて参加される方が多い。また夜間帯ではバドミントンやバレーボールなど会社帰りの働き世代が運動・スポーツを実施しており、機会提供が十分にできたと考える。

○トレーニング室

都度払いで利用できるということで、フィットネスクラブを解約して当館を使い始める方が増加したと感じる。トレーニングマシン自体、フィットネスクラブに引けを取らないレベルのものを提供しているため、好評をいただいている。スペースは限られているが、時間帯によってフリースペースにてトレーニングスタッフによるストレッチ・筋力トレーニングなどのミニプログラムの提供を再開した。利用者の運動機会提供および交流機会提供が十分でできたと考える。

○教室・講習会

子どもから高齢者まで幅広い対象を設けた教室・講習会を実施した。令和4年度に人気であった「ズンバ」や「ランニング講座」を定期開催することで、運動・スポーツを継続的に参加できる機会を設けられた。また令和5年度から実施した子ども向けの「ボール投げ教室」では運動・スポーツに対して苦手意識を持っている子どもでも気軽に参加・継続できるよう指導員と指導内容を計画し、提供できたと考える。宮前公園庭球場においても、引き続き夏期・冬期に成人向けテニス教室や高齢者を対象としたシニアテニス教室を実施し、応募数も100名を超える人気教室となった。

○交流機会

令和5年度の「トップアスリート事業」ではアテネオリンピック金メダリストの鹿島丈博

氏をお招きして、「親子体操体験教室」を実施した。参加者から「トップアスリートから直接レクチャーいただけるのはありがたい」「子どもへさまざまな体験をさせたく、貴重な教室に参加できたことにうれしく思う」など好評いただいた。

○健康体力相談事業

八雲体育館独自のこの事業では、トレーニングや運動の継続・開始にあたって、自身の状態の確認や目標設定、身体の疑問や不安といったことを医師、看護師、栄養士、健康運動指導士とともに多角的に分析し、運動のサポートを行った。測定結果や今後の目標など、一人ひとりに丁寧な説明、アドバイスを関係者とともにを行った。また毎月テーマを変えて行う栄養講座においては、参加者からのリクエストや講師とともにニーズや好奇心を反映した結果、「食」と「運動」という面からテーマを決め、多くの方に参加いただいた。

同事業に参加されたことがきっかけとなり、トレーニング室の利用につながったケースも多く見られ、健康体力相談事業としての機能を大いに発揮することができたと考える。

○宮前公園庭球場

年間を通じて、その需要の高さから、高い利用率を維持している。委託先である目黒区シルバー人材センターとも密に連絡を取り合い適切な管理運営を行った。

今年度はコートを維持するために必要な備品を更新し、その質の維持向上に努めた。

【Ⅱ 経営能力に関する事項について】

責任者1名、副責任者3名を選任し、当社本部や近隣管理施設との連携・緊急対応といったサポート体制を確立し、日々の利用者対応をはじめとした、安定的な業務の遂行につなげることができたと考えている。トレーニングルームにおいて安全管理、運動指導、利用者対応の観点から、有資格者を中心に2名以上を常駐とした。また、受付事務とトレーニング室の職域を越えて双方に対応できるマルチジョブ化の従業員育成を継続し、利用者からの問い合わせにワンストップで対応できるよう努めている。こうした積み重ねが利用者アンケート結果にも表れているものと認識している。顧客満足度の向上を推し進めるにあたり、事業計画に沿う形で、個人情報保護をはじめとした様々な教育研修を行い業務水準の維持向上、効率化に務めた。11月の年次停電検査による休館の際は、住区センターを借用し、目黒消防署の協力もいただき防災、避難、心肺蘇生、AED取り扱い等について技術を高めることができた。

【Ⅲ 管理運営経費の効率的な活用について】

前項でも記載した職域を越えて対応できる人材の育成、ならびに責任者クラスの業務についてもできることから標準化を図り、全体で管理運営のスリム化を目指してきた結果、業務効率の向上が図れたと考えている。イベントの際は関係機関、目黒区スポーツボランティアや近隣の高校生ボランティアスタッフなどと協同し、経費の削減に努めるとともに、地域や世代を超えて交流を深めることができた。トレーニング機器については、リース契約を行い単年でかかる費用を圧縮し、経費削減に努めている。

指定管理者による自己評価（令和5年度年次） <グループF>

1. 事業報告書概要

(1) 施設の概要

施設名	目黒区立砧野球場・砧サッカー場
所在地	世田谷区喜多見一丁目12番2号
施設	軟式野球場3面、少年野球場3面、サッカー場（大人）1面、サッカー場（少年用）1面
事業内容	1 スポーツ・レクリエーションの指導及び普及に関すること 2 体育施設の利用に関するもの 3 1, 2に掲げるもののほか区が必要と認めるもの

(2) 指定管理者の概要

団体名	協栄・目黒体育協会グループ
所在地	中央区日本橋蛸殻町二丁目13番9号
代表者	代表取締役 山田 賢治
受任業務	1 目黒区立体育施設条例施設第3条に規定する業務 2 体育施設の利用の承認、不承認、制限その他利用に関する業務 3 体育施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 4 体育施設の設備等の保全及び修繕（区が指定するものに限る。）に関する業務 5 2, 3, 4に掲げるもののほか、区が必要であると認める業務
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

(3) 管理運営状況

① 一般公開（なし）

② 教室・講習会、交流機会提供事業

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
野球場	3	4	6	150.0%	147	296	338	114.2%
サッカー場	1	1	1	100.0%	1,187	834	1,380	165.5%
合計	4	5	7	140.0%	1,334	1,130	1,718	152.0%

③ 無料公開

	事業数				参加人数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
野球場	2	2	3	150.0%	123	254	258	101.6%
サッカー場	1	1	1	100.0%	1,187	834	1,380	165.5%
合計	3	3	4	133.3%	1,310	1,088	1,638	150.6%

④ 貸切事業

	貸切可能数				利用団体数			
	令和3	令和4	令和5	前年比	令和3	令和4	令和5	前年比
野球場	7,610	7,696	8,067	104.8%	2,126	1,783	1,893	106.2%
サッカー場	2,503	2,506	2,586	103.2%	1,023	668	687	102.8%
合計	10,113	10,202	10,653	104.4%	3,149	2,451	2,580	105.3%

⑤ 指定管理者の収支決算状況（円）

	令和4年度	令和5年度	前年比	備考
収入額 ①	34,168,698	34,426,894	100.8%	
指定管理経費	31,712,583	31,735,133	100.1%	
利用料金	2,446,075	2,672,175	109.2%	
その他	10,040	19,586	195.1%	
支出額 ②	30,972,367	30,361,593	98.0%	
人件費	19,141,564	18,681,105	97.6%	
事業費	440,565	487,852	110.7%	
管理費	8,954,425	8,726,099	97.5%	
消費税	2,435,813	2,466,537	101.3%	
差引 (①-②) =③	3,196,331	4,065,301	127.2%	
区への還元額 (③×30%)	958,899	1,219,590	127.2%	

2. 指定管理者の自己評価

【総評】

当施設は区外に位置しており、公共交通機関のアクセスが悪い場所にある。東急バスの運行形態変更により運行が始発から午前 9 時までしかなくなったことで交通アクセスは更に厳しい条件となったが、引き続き職員はグラウンドの維持管理に最善を尽くしており、令和 5 年度も利用者からは大変評価が高く職員の誇りとなっている。

区のアンケート、指定管理者の独自アンケートを、ペーパーレス化推進のためWEBアンケートを実施した結果、回答数は減少したが、最も重要と捉える、その他の意見（文章での回答項目）が増加し、より鮮明な利用者の要望意見がわかった。厳しい意見もあるが、感謝の言葉もあり、職員、グラウンドの整備等高評価である。

令和 5 年度より指定管理者も対象となった公契約条例を遵守し適正に履行している。

また、不正利用者に対しては引き続き厳しい態度で臨んだ。

令和 5 年度も一部事業では指定管理者が利用団体の交通費負担や水分などを提供することで当指定管理者と各利用団体との良好な関係を構築し、事業に対して協力を得られている。

令和 4 年度に続き、目黒区予約システムについては大きなトラブルなく運用している。利用者等からの問い合わせはコールセンター、スポーツ振興課管理係等と連携し対処できている。

令和 2 年 3 月に完成した管理事務所は平屋になりバリアフリー、誰でも更衣室シャワー室、誰でもトイレ、授乳室、おむつ交換台、女子トイレ個室増、男子トイレ洋式化、廊下、男女更衣室等のエアコン設置、などの設備が充実したことの周知がなされてきており、多くの方々が利用し大変好評である。

【I サービスの実施に関する事項について】

計画していた 7 事業中 7 事業実施できた。

- ① 夏に実施している少年サッカー近隣地区交流大会では、熱中症対応策として 1 試合の時間を 15 分とした。またハーフ休憩時間を長くし、気温 35 度を超す場合は中止とするなど、対応を決めたうえで実施した。また、ミストシャワーをテントに備え付けた。
少年サッカー近隣地区交流大会は夏 4 日間、秋 2 日間、春 2 日間実施し、1,380 名が参加した。参加した子供たちは日頃の練習を遺憾なく発揮し、他チームと親睦を深め合う有意義な大会となった。
- ② 親子でソフトボール大会は、大人 40 名、小人 40 名の計 80 名が参加し、子育て期にある保護者のスポーツ振興に寄与した。
- ③ 目黒多摩川ウォーキングは、大人 4 名、高齢者 11 名の計 15 名が参加した。健康づくり、高齢者のスポーツ振興に寄与した。
- ④ 砧ふれあいスポーツ教室は、大人 15 名、障害者 25 名の計 40 名が参加した。福祉施設と連携し、障害者と健常者がともにスポーツを行いふれあいの場を過ごすことができた。
- ⑤ 砧ふれあいスポーツ広場は、大人 15 名、障害者 25 名の計 40 名が参加した。福祉施設と連携し、障害者と健常者がともにスポーツを行いふれあいの場を過ごすことができた。
- ⑥ グラウンドゴルフ教室は、大人 2 名、高齢者 23 名の計 25 名が参加した。広いグラウンドで伸び伸びとプレーすることができ、健康づくり、高齢者のスポーツ振興に寄与した。
- ⑦ 小学生駅伝大会は、小人 138 名が参加し、他チームと親睦を深め合う有意義な大会となった。

目黒区のアンケート WEB 回答数 56 件うち、その他の意見（文章での回答）45 件。紙でのアンケートの回答は 0 件だった。

指定管理者独自アンケート WEB 回答数 39 件うち、その他の意見（文章での回答）28 件

教室、交流機会等事業もすべてアンケートを（紙）実施した。

今年度はサッカー協会少年の部と利用者懇談会を実施し、日頃は聞けない要望や評価を聴取することができた。感謝の気持ちと高い評価を聞くことができ、現場スタッフとの信頼関係をさらに深められた。

今年度の苦情は3件。職員のサービス向上意識と努力により、トラブルは大きくなる前に処理している。

【Ⅱ 経営能力に関する事項について】

- ① 当施設は野球とサッカーの専用施設であり、通常利用する団体は限定的であるが、指定管理者が実施する事業により、目黒体育協会加盟団体の軟式野球連盟、サッカー協会、ティーパーボール連盟、陸上競技協会、グラウンドゴルフ連盟、ウォーキング協会の指導者が協力し事業を遂行している。また、区民大会を主管している団体とは区、目黒体育協会と連絡を密にとって施設の利用・解除等もスムーズに行われており、管理運営体制が確保されている。
- ② 職員が施設管理等の資格を保持しており、細かい気配りで施設の状態を良好に保つことで利用者から好評を得ている。4月から12月は早朝利用が6:30から始まるため、職員は5:30に出勤し、利用者が快適に利用できるように準備している。
- ③ 備品、消耗品等も利用者の要望、安全等を考慮し揃えている。

【Ⅲ 管理運営の効率的な活用について】

- ① 収入については利用料金収入が前年2,446,075円に対し2,672,175円で前年比109.24%
利用料金収入（貸切、教室・講習会）は予算2,348,000円に対し2,672,175円で予算比113.81%。
収入合計は年度予算34,094,845円に対し34,426,894円で予算比100.97%、前年34,168,698円に対し前年比100.76%となった。
- ② 支出については管理事務所建替えにより廊下、更衣室等にもエアコン設置など設備が充実した。令和3年2月から屋外トイレ7基全てを節水タイプの洋式のものに新しく入れ替え、その内2基を小便専用のものにした影響か、し尿汲み取り費が大幅に減少した。このため、電気料金や光熱費の高騰による影響の経費上昇分は、維持管理費のし尿汲み取り費の減少分で多少カバーできている。
今年度は、刈払機（草刈り機）、点検整備及び経年劣化故障のため、修繕したく業者に問い合わせたところ、10年以上経過の機械につき費用対効果を考えると買い替えが望ましいため、購入した。（修繕費に余剰があったため）
区民体育祭などで使用している机や椅子などの物品や、散水ホースなどの備品、消耗品類は、既存の物に経年劣化が見られるため購入し区に還元できている。またミストシャワーの部品や、保冷剤や経口補水液を追加購入して熱中症対策として準備を万全にしている。
支出合計は年度予算34,094,845円に対し30,361,593円で予算比89.05%となり予算内に収めることができた。
- ③ 収入合計34,426,894円、支出合計30,361,593円で、収支差額4,065,301円となり、収入の一部還元額は1,219,590円と区に還元できた。